

一時避難、保養の情報

今年もよろしくお願いいたします。
東電福島第一原発事故からまもなく1年10ヶ月を過ぎようとしています。

3.11以降、有感余震のない日はないなか、福一4号機の燃料プールが倒壊しないか、福一の1,2,3号機のメルトスルーした核燃料が地下水に接触し、水蒸気爆発が起きはしないかと毎日不安を抱えた生活を送っています。

また、地震の活動期に入ったかのように、日本列島に大規模な地震予測されている中、全国にある各電力会社が所有する原発が破壊されない保証はなくなった。そしてもし福島のような重大事故が起これば、再び「福島化」が準備される。飢民である。

皆さんの家にあるコンセントから広がる世界を想像してください。 匡

週末等の期間を利用しました、一時避難、保養につきましては、新潟県において2ヶ所住宅を確保しております。ご利用方法等につきましては、下記連絡先までご連絡くださるよう、よろしくお願いいたします。

0247-82-5508(鈴木)



「市民による健康を守るネットワーク」
(たむら市民ねっと)

住所

〒963-4317

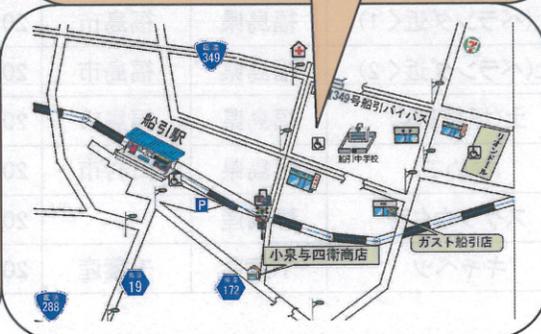
福島県田村市船引町東部台 2-285

0247-82-2909(Am:9:00~Pm:5:00)

営業日

月曜日～金曜日 AM9:00~PM5:00

まち子ちゃんの店内
<たむら市民ネット>



測定所に対する運営支援にご支援をお願い致します。

(郵便振替口座)

(記号) 021306

(口座番号) 25420

(加入者名) 福祉のまちづくりの会

新潟にて・・・冬休みに保養すっぺよ！



昨年12月22日から29日までの8日間、冬休みを利用した保養を新潟県聖籠町0.06~0.09μSv<船引町は0.16~0.20μSv>)にて行ないました。

参加者は、小学生2人。

前回の夏の保養とは違い冬の保養ということで、冬らしいすごし方を行いました。

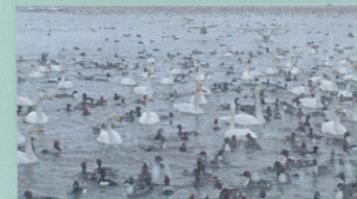
二王子山にあるスキー場「二ノツチ」にてソリすべりを初体験しました。私自身ゲレンデに足を踏み入るのは生涯初体験！

また、瓢湖(ひょうこ)には、毎冬6,000羽の白鳥が飛来するとのことで、現地を訪問し、その数に圧倒されました。

今回は、参加した子供たちから、東電福島第一原発事故の現在の状況や今後予想されることを質問され、図解でお話ししました。子どもたちのクラスメイトの中では、今は全く放射能について話し合う事がなく、関心度の低さに不安を持っていること。津波などから家族を失った家族から見ると、私は(子ども)、まだ被害者ではないのではないかと、様々な気持ちを吐きだしている様子に、子どもたちが互いに話し合える機会が必要ではないかと考えました。

今回も地元新潟の皆さんのご支援をいただきました。感謝申し上げます。

鈴木匡



白血病などの大病は取り上げられますが、知的能力が減少すること、運動能力が減少するなどは見逃されている傾向があることを話しました。※家に帰り、このレポートのタイトルを調べ、委員らに同行しているヒューマンライツの係りの方に知らせました。係りの方は必ず委員に伝えますと返答いたしました(ニューヨーク科学アカデミーレポート)。

委員はこの頃から何か不満げな態度に変わりました。そこで、東電福島第一原発事故後には、チェルノブイリの原発事故の様々な専門家、関係者らが来福してその様子を離している事、例えば、チェルノブイリの原発当時約 800 人の小学校において

教師であった方は、今生存している人は僅か 20 人であること。この時、筆記をパソコンにて行っていたインドの女性の顔が一瞬歪んだのを私は見ました。

また、バンダジェフスキーというベラルーシの医師は、セシウムは体内の筋肉に蓄積、心筋梗塞などを起こす事を発表した事を話しました。

委員の側近らが直ぐに持参のパソコンにてバンダジェフスキーを検索し、彼の経歴に逮捕歴があることを話しました。委員は「逮捕歴のある者の主張を採用する訳にはいかない」と、話しました。

私は彼は医大の学生を選抜する立場にあり、裏口入学させたとして投獄させられ

私が国連人権委員アナンド・グローバー（インド人弁護士）氏に話したこと

た犠牲者だと話しました。

委員の側近は、「ロシアはそういうのが多すぎる」と話しました。委員らは退場し通訳者の一人を捕まえて私は「国連と IAEA のこれまでの相互関係から、人権委員会がどこまで踏み込んだ勧告を示すのか？」と質問しました。

通訳者(女性)は、「国連からも離れ独自の勧告を日本に対して、今年 6 月には行なう」と答えました。

一方で委員らが帰国する際に記者会見を開きました。

その会見(アナンド・グローバー)氏の内容を要約します。

・日本政府は被害に遭われた住民の方々に安定ヨウ素剤に関する指示を出さず、配布



もしなかったことを残念に思います。

・残念ながらSPEEDIによる放射線量の情報、および放射性プルームの動きが直ちに公表されることがなく、これは政府の信頼性が問われます。

・学校で配布された副読本などのさまざまな政府刊行物において、「年間100ミリシーベルト以下の放射線被ばくが、癌に直接的につながるリスクがあることを示す明確な証拠はない」と発表することで状況はさらに悪化した。

・年間20ミリシーベルトという基準値は、1972年に定められた原子力業界安全規制の数字と大きな差があります。

・原子力発電所の作業従事者の被ばく限

度は管理区域内では「年間20ミリシーベルト、年間50ミリを超えてはならないと定められていて、5年間で累計100ミリシーベルト」と、法律に定められている。

・チェルノブイリ事故のあった際、強制移住の基準値は土壤汚染レベルとは別に、年間5ミリシーベルト以上であったという点です。

・住民が測定したものも含め、すべての有効な独立データを取り入れ公にする事を要請いたします。

・日本政府に対して、健康調査を放射線汚染地域全体（福島県内外）において実施することを要請いたします。

・低線量放射線地域、たとえば年間100

国連人権委員・アナンド・グローバー氏の記者会見要約

ミリシーベルトを下回る地域でさえも、癌その他の疾患の可能性あることを指摘する疫学研究を無視している。

・一時避難施設あるいは補助金支給住宅施設は障害者向けにバリアフリー環境が整っておらず、また、女性や小さな子どもが利用することに配慮したものでもありませんでした。

・年間20ミリシーベルト未満の地域で年間1ミリシーベルトまで引き下げるといふ目標について、具体的なスケジュールが決まっていない。

・日本政府は、東京電力も説明責任があることを明確にし、納税者が最終的な責任を負わされることのないようにしなければ

なりません。

・日本政府に対して、被害に遭われた人々、特に社会的弱者を全ての意思決定プロセスに十分に参加してもらうよう要請いたします。=以上要約=

先の衆議院総選挙の結果は周知のところですが、この選挙結果に対して、フランスのルモンド紙は「日本国民は福島を忘れている」と評した。

命と健康ではなく、景気と経済を選択した結果とも言える。「命があっても景気が悪ければ生きていけない！」という声が聞こえそうだ。

今、私たちに真に必要なことは、生きる哲学だと思う。

昨年11月20日福島市内の被災地支援団体事務所にて、夜7時30分から約1時間、単独インタビューという当初の内容を変更して行ないました。

法人の事業・活動以外に昨年2月1日から食品等の測定を行なう活動を通して、また独自に市内小中学校、幼稚園の校庭、園庭付近の土壌を測定し、その結果予想を上回る放射能汚染のデータを市の災害対策室、市の教育委員会に対して提出し、校庭、園庭内外の測定とその対策についての要望を行なった。市の災害対策室は、除染は、前年度の予算を今年執行することから、新たな除染費用を早急に予算化することは難しい事との説明を受けた事。

また、この土壌の測定を行なっている

ところで、黒い色のある種のバクテリアは、放射能を多大に吸収する性格があり、船引町のJR船引駅の駐輪場付近のバクテリアを自前の簡易測定器で計測した結果、10万ベクレルの数値を示し、市内外至る所に生息していることを考えると行政としての対策を行なう事が必要であると判断し、同じく市の災害対策室、市の教育委員会に対してデータを示して行なった。後日、市の災害対策室はゲルマニウム半導体測定器に委託測定しセシウム134,137合わせて10万ベクレルの測定結果から、国に問い合わせたところ、最終処分地が特定できないところで、何もできないと話されたとの事。

私が国連人権委員アナンド・グローバー（インド人弁護士）氏に話したこと 鈴木匡

チェルノブイリの原発事故後の健康被害は1986年4月26日以降これまで、100万人近い人が亡くなっているとのレポートもあることから、この国の帰還基準である年間20mSv以内は苛烈極まりない事を話しました。

委員のアナンダさんは、「私はチェルノブイリの原発事故後の健康被害は、甲状腺ガンで亡くなった2,400人という情報以外は知らない」と話された。

私は「このレポートは、医師、看護師ら現場の支援者らが実際に見届けた実数をまとめたものであり、信頼できるものです。そのレポートのタイトルを今思い出せない」と話しました。また、甲状腺ガン、



常磐共同火力発電所も被災したが現在は復旧している＝いわき市植田町＝

品名	採取場所		測定日	測定時間 (分)	検出限界値 Bq/kg	測定値 (Bq/Kg)		
	都道府県	市町村				Cs134/137 合算		
						数値	誤差	
南部小麦粉	岩手県		2012/11/20	120	5.34	ND	±	ND
いちじく	福島県	田村市	2012/11/21	120	5.75	ND	±	ND
大根	福島県	田村市	2012/11/21	120	5.44	3.08	±	3.12
大根	福島県	田村市	2012/11/22	120	5.35	2.89	±	3.37
みかん	静岡県		2012/11/21	120	5.03	ND	±	ND
湧水	福島県	喜多方市	2012/11/22	180	3.56	ND	±	ND
柿	福島県	田村市	2012/11/26	120	5.23	10.32	±	8.47
えごま	福島県	田村市	2012/11/30	180	8.08	22.47	±	11.46
雪	福島県	田村市	2012/12/3	240	2.72	ND	±	ND
屋根からの雨水	福島県	田村市	2012/12/4	240	3.31	10.45	±	2.81
除染後の水	福島県	田村市	2012/12/5	240	4.04	3377.9	±	290.6
くらかけ豆	福島県	田村市	2012/12/5	90	5.48	4.27	±	5.25
黒豆	福島県	福島市	2012/12/6	90	6.62	3.91	±	2.66
うに	福島県	いわき市	2012/12/14	240	3.53	ND	±	ND
水道水	福島県	田村市	2012/12/17	360	2.57	ND	±	ND
温州みかん	愛媛県		2012/12/20	150	3.81	ND	±	ND
玄米もち米	新潟県		2012/12/19	150	4.19	ND	±	ND
野生きのこ	山梨県	富士吉田市	2012/12/19	150	4.58	276.75	±	30.36
土(表土 5cm 以下)	福島県	福島市	2012/12/20	30	5.77	50.00	±	16.00
土(ベランダ近く 1)	福島県	福島市	2012/12/20	30	7.19	1198.1	±	122.3
土(ベランダ近く 2)	福島県	福島市	2012/12/19	30	7.41	3236.0	±	300.8
土(垣根近く)	福島県	福島市	2012/12/20	30	6.61	3838.2	±	349.9
なめこ	福島県	田村市	2012/12/21	300	4.11	ND	±	ND
スケソウタラ	静岡県産		2012/12/26	120	4.52	ND	±	ND
キャベツ	千葉県	千葉産	2012/12/27	120	6.22	ND	±	ND

検体の測定結果につきましては、次のアドレスにて確認できます。

<http://www12.plala.or.jp/youtopia2003/>